

令和7年度まちづくり懇談会内容

日時：令和7年12月1日（金） 18：00～

場所：中央連合町内会コミュニティセンター

出席者：15人

- 1.開会
- 2.町長説明
- 3.懇談
- 4.閉会

【懇談・そのほか質疑など】

■中学校のグラウンド	
町民	中学校のグラウンドに公営住宅と新寮が建設された。住宅のミスマッチ解消のため、住み替えしなければいけないということで、急遽建設が必要だったというのは分かる。しかし、中学校にグラウンドがないというのは本来の姿ではない。近くに運動公園はあるが、学生がそこまで歩くのには距離があるため、検討する必要があるのではないかと。
教育長	急遽建てたことにより、今年のマラソン大会の駐車場でも課題となった。現在は中学校、高校ともに運動公園を利用している。また、ニセコ高校の体育館は土日の利用がないので、一般開放で利用できるようにしている。グラウンドはそれぞれ個別にあればいいと思うが、運動公園を利用してほしい。子どもたちの居場所作りは考えていかなければならない。

■町民センター裏のゲートボール場	
町民	運動公園のゲートボール場を潰したと聞いたがなぜか。
町長	町民センター裏のゲートボール場のことだ。これまで町民センターの駐車場が足りないという声を多くいただいていた経緯があり、町民センターの駐車場として活用した。これまでより50台ほど多く停められるようになり、併せて線の引き直しも行った。ゲートボールの利用者などと協議をした上で、そのようにしたと聞いている。

■ニセコ高校	
町民	ニセコ高校の今の1年生までは定時制で、新しく入ってくる生徒は全日制になるという認識だ。部活動などで大会実績があるかと思うが、来年からはどういったすみわけになるのか。

教育長	今の1年生までは定時制の大会に出る。一部合同チームで出場してもよいこととなっており、全道大会までは合同チームで出場できる。今年は個人種目で全国ベスト4の成績を残した生徒もいる。
町民	定時制の方は1学年だけだと団体競技などは成り立たないのではないか。
教育長	全日制として入ってくる生徒と合同チームを組めないか調整している。

■町営プール	
町民	プールは新しくならないのか。夏の子どもたちの遊び場はプールが中心となっている。
町長	前町長の頃から建て替えを希望する声は多かった。しかし、建築費や建設後の維持費、維持管理についても考えていかなければならないので事業化が進んでいない。子どもたちの遊び場や体育館の老朽化、グラウンドがない状況など、課題意識は非常に持っている。限られた財源の中で、町としてどういう選択肢があるか検討している。観光審議会では、宿泊税の用途としてプールを作ってもらえないかという声も増えてきている。新しく建設するのは難しくても、安全に清潔に使えるよう一部改修などは進めていきたい。

■価格高騰	
町民	除雪費用や灯油代が高騰しており、支払うのが大変だ。何か助成はないか。
町長	冬の生活に向けて緊急的に支援するという方針を国が出している。去年は、この制度を活用し、町内の買い物で使えるようなポイントを配布する取り組みがされていた。学校給食無償化や農家・酪農家への燃料高騰に対する手当など、使い道は幅広い。国会にも要望活動をする中で、北国特有の実情についても配慮してほしいということは他町村長と一緒に伝えている。

■道有林の伐採	
町民	道有林が自生して大きくなっている。近くに住んでいる人から、景観が悪いので切ってほしいと聞いているが、道有林なのでやはり伐採はできないか。
町長	ほかの地区でも道路に木がかかっているのを処理できないかという声をいただいている。しかし、木を切る事業者も人手が足りていない。道路を作るための補助金は出るが、道路の維持管理に対しては補助金や支援はない。そうなる町が単費で実施しなければならない。いただいた意見は担当課にもしっかりと共有する。

■財政状況	
町民	人口が微増傾向にあることが分かった。過疎地域から外れる可能性があり、有利な補助金が使えなくなると思うが、町として財源が減ってしまうのではないか。それとも人口が増えていることで税収が上がっているなどのメリットもあるのか。財政シミュレーションはしているか。
町長	現時点で 2030 年度より過疎地域の指定から外れる可能性が高い。そうになると、過疎債が使えなくなることが一番大きい。過疎債は、借金をするときその 7 割を国が補填してくれるという制度だ。道路整備や高校寮の建設など、大きい事業に対する財源は過疎債に頼らざるを得ない状況だ。これはニセコ町に限らずどの自治体も同じ状況だ。人口が微増していて頑張っているのに、過疎地域から外れて財源が一気に減ってしまうのはどうなのかといったことをほかの町村と一緒に要望している。近隣では留寿都村でも人口が微増しているので、ニセコ町と同じタイミングで過疎地域から外れると聞いている。過疎債に代わる何らかの経過措置は期待できると思っている。人口が増えることで税収が増えたりするメリットも当然ある。

■スキー場リフト券	
町民	冬に子どものスキーリフト券をいただけるのはありがたいが、2 回分くらいしかない。せっかくニセコ町にいるのだからもっとやらせてあげたいし、周りでもそういった声を聞く。小さい子どもであれば親も一緒に行かなければならないが、親への補助は無く料金も高いので、あまり連れていけない。
教育長	リフト券は補助を上乗せしたいと考えている。子どもたちのリフト券の補助や保護者分の補助は増やしていきたい。今年度はそこまで補助できない。国際的に活躍している児童生徒が出てきているため、町が支援できないか十分検討していかなければならない。
町長	現状、子どものリフト券はかなり手厚い補助になっている。しかし大人への補助はない。スキー事業者から、一日でもスキー場で働いてくれたら家族も含め社割のような形でリフト券を補助するような取り組みができないかということがアイデアとして挙がっている。また、夏場になって雪が解けるとごみが溜まるため、そのゴミ拾いに参加してもらえれば、次シーズンのリフト券補助や優遇ができるようなしくみができないかと思っている。町あるいは事業者で毎年何千万円も補助するというのは、今のニセコ町の財政力を見てもなかなか難しい。さまざまなアイデアの中で折り合いを付けたい。

■尻別川	
町民	尻別川の水質は清流日本一だといわれているが、水質調査はしているのか。最

	<p>近は宿泊施設がたくさんでき、宿泊者がとても多い。合併浄化槽を使ってオーバーフローになり、そのまま尻別川に流れている可能性が高い。そのため、定期的に水質調査を実施したほうがよいと思う。宿泊が多い冬の時期にも調査するべきだ。汚れは山から下のほうにどんどん流れてくる。</p>
町長	<p>残念ながら町内でも汚れが目立つ箇所がある。浄化槽のサイズのミスマッチが起きている。浄化槽は基本的に微生物を使って処理するため、冬しか使わないと浄化槽のキャパがあふれてしまう。景観を損ねることにもなりかねないので、住民や農家の農業用水が汚れてしまうのはよくない。浄化槽の入れ替えとなるとお金も発生するので、どのような形で推進していくかは担当としっかり検討していきたい。宿泊税の使い道の部分で、そういったところに支援していく財源に充ててはどうかという議論もあった。</p>

<p>■ちびっこ広場</p>	
町民	<p>ちびっこ広場の滑り台は、修繕されたか。遊具の上に付いていたコマが雪の重さで下になっていたため、それを撤去していただいた。しかし、遊具としてどう使うのか。公園の柵が雪の重さで下がってしまっている。子どもたちが下に落ちていかないよう柵が立っているが、雪の影響で倒れている状況だ。</p>
町長	<p>担当課と検討する。遊具の整備について、修繕できるところから進めていきたい。子どもたちが公園で遊ぶことがメインだと思うが、それがきっかけで地域につながりが生まれるということもあると思う。ちびっこ広場はレーシングの部分を整備している。それは、子ども議会での意見や要望によって整備したという経緯もある。実際に使うのは来春からだと思うが、水場も含めて整備は必要だと考えている。</p>
都市建設課長	<p>(追加回答) コマの部分については、平成 21 年に設置した遊具のため、部品がもうないということから全部撤去した。よって、遊具としての機能は登坂棒くらいの用途にしかならない。安全柵については毎年、遊具の専門家に点検を委託している。安全上、問題があれば補修する。</p>